



Title	BCCWJと擬音表記における語末に現れるオノマトペ標識について：組合せ方を中心に
Author(s)	陳, 萍
Citation	若手研究者フォーラム要旨集. 2022, 5, p. 23-26
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/87124
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

BCCWJ と擬音表記における語末に現れるオノマトペ標識について

—組合せ方を中心に—

国語学 博士前期課程 2年

陳 萍

1. はじめに

オノマトペの語末に付加するオノマトペ標識の意味機能が異なることは周知の通りである。またマンガに現れる絵に添えられたオノマトペは、対象となる人物や事物の動作・状態、登場人物等を取り巻く外界音を言葉で捉え、文字で表現することによって絵の伝わり効果を高める機能を担っているとして知られている。本発表では、語末に現れるオノマトペ標識の組み合わせ方を分析することにより、マンガの絵に添えられたオノマトペと既存のオノマトペとの共通点、および相違点について検討する。

2. 先行研究

ここで、本発表に関わる先行研究について見ていきたい。

Waida(1984)、田守・ローレンス(1999)などでは、オノマトペ標識とは「促音(Q)・撥音(N)・長音(R)・「り」・反復」¹という5種類のもので、日本語オノマトペの成り立ちの規則的な体系をなしていると指摘している。例えば、{ごろ}を語基の例にとると、「ごろっ・ごろん・ごろり・ごろごろ」はオノマトペ標識の「促音(Q)・撥音(N)・「り」・反復」によって派生されたものと考えられる。

またオノマトペ標識の促音(Q)、撥音(N)、長音(R)、「り」、反復について、語末に現れるオノマトペ標識はそれぞれ違う意味機能を担っている。例えば、音象徴の視点からオノマトペ標識を分析する浜野(2014)は、語末に現れる促音は運動の「収束」を、語末の「り」は「「ッ」、「ン」と比べて「運動がゆったりとあるいは静かに起こること」を、語末の撥音は「余韻のある音」、または、「運動の力が余って、跳ね返りを伴うか、反動を感じるか、あるいは、それが可能な状態」を、語末の長音は、「撥音の前では、「語末の撥音で表される運動の反動が持続すること」を、促音の前では「接触があってから、それ以前と同じ方向に運動が継続すること」を表す、などと指摘している(浜野 2014: 52-57)。また、アスペクトの視点から、角岡(2007)では、語末の促音は「表現している様態が短いこと、あるいは動作が急であること」を、語末の撥音は促音より「動作・様態が相対的に長い、あるいは持続していること」を、語末の「り」は「動作が完了している」状態を、語末の長音は「描写している様態が時間的に長く持続している」ことを表わすと指摘され

¹その中で、「り」は独立の音節として付加されるが、促音・撥音・母音の長音化は独立した音節ではなく、一つの拍(モーラ)になる。また、「反復」とは語基が繰り返されることである。

ている(角岡 2007 : 78-88)。

3. 調査対象と分析方法

本発表では、マンガの絵に添えられたオノマトペを「擬音表記」と呼び、調査を行った。

また、既存のオノマトペを調査する際に、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(以下 BCCWJ という)を利用して考察を行った。

BCCWJ は、「現代日本語の書き言葉の全体像を把握するために構築したコーパスであり、現在、日本語について入手可能な唯一の均衡コーパス」²で、「書籍全般、雑誌全般、新聞、白書、ブログ、 ネット掲示板、教科書、法律などのジャンルにまたがって1億430万語のデータを格納して」いて、出版物から抽出した「出版(生産実態)サブコーパス」、公共図書館の収蔵図書から抽出した「図書館(流通実態)サブコーパス」、その他インターネット上のテキストや国会会議録などから抽出した「特定目的サブコーパス」という性質の異なる3つのサブコーパスで構築されている。性質の異なるサブコーパスから齎した影響を考え、サブコーパスにそれぞれ該当する用例についての調査を行った。

4. 調査結果

BCCWJ と擬音表記に現れるオノマトペ標識の組み合わせ方を表1に示しておく。

表1 BCCWJ と擬音表記に現れるオノマトペ標識の組み合わせ方³

順位/サブコーパス	出版サブコーパス	図書館サブコーパス	特定目的サブコーパス	擬音表記
1位	反復	反復	反復	っ
2位	り	り	り	反復
3位	っ	っ	っ	ん
4位	ん	ん	ん	ー
5位	ーっ	ーっ	ーっ	ーっ
6位	ー	ーん	ーん	ーん
7位	ーん	ー	ー	んっ
8位	んっ	んっ	んっ	り
9位	りん	りん	りん	りん
10位	りっ	りん	ーり	ーんっ
11位	×	ーんっ	ーんっ	りん
12位	×	×	×	っん
13位	×	×	×	っー
14位	×	×	×	ーりっ
15位	×	×	×	ーっん
16位	×	×	×	ーっりん
17位	×	×	×	んーっ
18位	×	×	×	りんっ
19位	×	×	×	りー
20位	×	×	×	っーっ

※BCCWJ と擬音表記にともに現れるオノマトペ標識の組み合わせ方に網掛けを付した。

²BCCWJ の公式ホームページ : <https://ccd.ninjal.ac.jp/bccwj/basic-design.html>

³ ここで順位は、異なり語数で現れた組み合わせ方の数の順序である。

ここで、この表を見ながら、BCCWJと擬音表記の調査結果の共通点、および相違点をまとめておく。

まず、BCCWJにおける出版サブコーパス・図書館サブコーパス・特定目的サブコーパスに現れるオノマトペ標識の組み合わせ方について、合計12種の中には、3つのサブコーパスにともに見られる組み合わせ方として「反復」、「り」、「っ」、「ん」、「一っ」、「一」、「一ん」、「んっ」、「りん」という9種類が挙げられる。また、単一のオノマトペ標識が現れる場合の順序は、ともに「反復」が第1位、「り」が第2位、「っ」が第3位、「ん」が第4位である。複数のオノマトペ標識が現れる場合の順序は、ともに「一っ」が一番多く、次いで「一ん」、「んっ」である。つまり、BCCWJにおける出版サブコーパス・図書館サブコーパス・特定目的サブコーパスという3つのサブコーパスの調査結果は概ね同じような傾向を示していることが分かる。

それから、BCCWJと擬音表記の調査結果を比較すると、BCCWJに現れるオノマトペ標識の組み合わせ方のほか、擬音表記にしか見られない組み合わせ方として「っん」、「っー」、「りー」、「んーっ」、「りんっ」、「一っん」、「りーっ」、「っーっ」、「一っりん」という9種類が見られる。擬音表記において語末に現れるオノマトペ標識の組み合わせ方が多いことが分かる。

そして、語末に現れるオノマトペ標識の順位について、単一のオノマトペ標識の場合、BCCWJにおいて「反復」が第1位、「り」が第2位、「っ」が第3位、「ん」が第4位である。それに対し、擬音表記においては「反復」が第1位、「っ」が第2位、「ん」が第3位、「一」が第4位である。また、「り」は、BCCWJにおいて第2位であるが、擬音表記において第8位である。

つまり、擬音表記において語末に現れるオノマトペ標識のなかでは「っ」、「ん」「一」の割合が高くなっていることが分かる。その理由は擬音表記としての機能に関わると考えられる。擬音表記はマンガに描かれた動きの緊張感やスピード、動作の余韻を強調する、または描写している様態が時間的に長く持続していることを表すなど、表現の効果を高めるために、語末に「っ」・「ん」・「一」を数多く使用していることが考えられると思われる。

また、複数のオノマトペ標識が現れる場合、BCCWJにおける3つのサブコーパスは、ともに「一っ」が一番多く、次いで「一ん」、「んっ」である。擬音表記では同じように「一っ」が一番多く、次いで「一ん」、「んっ」である。それはオノマトペでは、長音の後に促音と撥音が付きやすいことに関わると考えられる。

5. おわりに

本発表では、BCCWJと擬音表記におけるオノマトペの語末に現れるオノマトペ標識を分析することにより、両者の共通点、および相違点について見てきた。明らかにした点は以下のように示しておく。

BCCWJにおける出版サブコーパス・図書館サブコーパス・特定目的サブコーパスの調査結果は概ね同じような傾向を示していることが分かる。また、擬音表記はマンガに描かれた動きの緊張感やスピード、動作の余韻を強調する、または描写している様態が時間的に長く持続していることを表すなど、表現の効果を高めるために、語末に「っ」「ん」・「ー」を数多く使用していることが考えられると思われる。

複数のオノマトペ標識が現れる場合、BCCWJにおける3つのサブコーパスは、ともに「ーっ」が一番多く、次いで「ーん」、「んっ」である。擬音表記では同じように「ーっ」が一番多く、次いで「ーん」、「んっ」である。それはオノマトペでは、長音の後に促音と撥音が付きやすいことに関わると考えられる。これはオノマトペでは、オノマトペ標識の長音は、語末の撥音の前の母音、及び語末の促音の前の母音に限られることに関わると考えられる。

今回の調査で、BCCWJを利用して、オノマトペ標識を通して擬音表記と既存のオノマトペの共通点、および相違点について見てきた。しかしマンガという特殊なサンプルに限られるので、小説、現代詩などについても同様な調査が望まれると考えられる。

【参考文献】

- ・角岡賢一(2007)『日本語オノマトペ語彙における形態的・音韻的体系性について』くろしお出版
- ・田守育啓 ローレンス・スコウラップ(1999)『オノマトペー形態と意味ー』くろしお出版(使用したのは2001年第2版である)
- ・浜野祥子(2014)『日本語のオノマトペー音象徴と構造ー』くろしお出版
- ・Waida, Toshiko. (1984). English and Japanese Onomatopoeic Structures, Studies in English 36, Osaka Women's University.

【使用したコーパス】

URL : <https://chunagon.ninjal.ac.jp/bccwj-nt/search>(最終確認 : 2021年12月17日)

【調査した資料】

空知英秋(2006)『銀魂 11 巻』集英社/空知英秋(2006)『銀魂 12 巻』集英社/空知英秋(2006)『銀魂 13 巻』集英社/空知英秋(2006)『銀魂 14 巻』集英社/空知英秋(2006)『銀魂 15 巻』集英社/荒木飛呂彦(2011)『ジョジョの奇妙な冒険 Part8 ジョジョリオン巻 1』集英社/荒木飛呂彦(2012)『ジョジョの奇妙な冒険 Part8 ジョジョリオン巻 2』集英社/荒木飛呂彦(2012)『ジョジョの奇妙な冒険 Part8 ジョジョリオン巻 3』集英社/荒木飛呂彦(2013)『ジョジョの奇妙な冒険 Part8 ジョジョリオン巻 4』集英社/荒木飛呂彦(2013)『ジョジョの奇妙な冒険 Part8 ジョジョリオン巻 5』集英社/吾峠呼世晴(2016)『鬼滅の刃巻 1』集英社/吾峠呼世晴(2019)『鬼滅の刃巻 18』集英社/吾峠呼世晴(2020)『鬼滅の刃巻 19』集英社/吾峠呼世晴(2020)『鬼滅の刃巻 20』集英社/吾峠呼世晴(2020)『鬼滅の刃巻 21』集英社